

通学路の交通安全を啓発

7/12[Mon]

夏の交通安全県民運動（7月12日～21日）の一環として、市は多久市交通対策協議会、小城警察署、多久地区交通安全協会と連携し「通学路におけるマナーアップキャンペーン多久」を南多久町泉町区で行いました。

小雨の中、各団体と地元泉町区役員の合わせて17人が参加。通学路を通る車両運転者に交通安全グッズを配布し、マナーアップを啓発しました。

多久地区交通安全協会の担当者は「この通学路は道幅が狭く、交通量も多い。子どもたちのために、交通ルールを守って安全運転を心掛けてほしい」と話されました。



▲通学路を通行する車両に安全運転啓発を行いました

第31回 諸田賢順を偲ぶ会

7/13[Tue]

毎年、諸田賢順の命日に行われている「諸田賢順を偲ぶ会」（主催：多久市文化連盟）が今年も専称寺で開催されました。

賢順は、平安時代末期から北九州地方に流布していた箏曲を筑紫流箏曲として大成した多久市ゆかりの僧侶。会では「楓の会」の琴奏者4人と「尺八研究会」の6人によって2曲が演奏され、本堂を美しい音色で包みました。

横尾俊彦市長は「再来年には400回忌を迎えるこの集いでは、いつも人の縁を改めて感じられる。これからは賢順が生きた当時に思いを馳せながら、このご縁をつないでいきたい」と挨拶を述べました。



▲琴と尺八の音が響くなか、賢順を偲びました

多久市子ども探検隊夏編を開催

7/17[Sat]



▲竹に結んだ縄ばしごを使って2mの滝に挑戦



▲2kmにわたる沢登りを参加者全員でやり遂げました

義務教育学校3～8年生を対象に、水と親しみながら多久の自然を学ぶイベント「多久市子ども探検隊夏編～今出川沢登り～」(主催：多久市中央公民館)が、北多久町の今出川で行われました。

児童13人が参加し、今出川ふるさと公園をスタート。縄ばしごを使ったり、肩車で引き上げたりと、互いに協力し合いながら難所を乗り越え、およそ2kmにわたる沢登りコースを全員でゴールしました。

参加した児童は「途中でいくつか大変なところもあったけれど、チームワークで最後まで登りきることができてよかった。ぜひ、また参加したい」と笑顔で話しました。